

3Rイニシアティブの国際的展開

参考資料2

2004

G8シーアイランドサミット（米国）

我が国が3Rイニシアティブを提案し、各国首脳が3R行動計画に合意。

2005

3Rイニシアティブ閣僚会合（東京）

各国の3R国家戦略策定支援開始（インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナム、バングラデシュ、カンボジア）

2006

3R高級事務レベル会合（東京）

2007

3R高級事務レベル会合（ドイツ・ボン）

アジア3R推進会議（東京）

2008

G8環境大臣会合（神戸）
「神戸3R行動計画」に合意

第2回アジア3R推進会議（東京）

G8北海道洞爺湖サミット
「神戸3R行動計画」をG8首脳が支持

第1回東アジアサミット環境大臣会合（ベトナム）
日本から提案した「アジア3R推進フォーラム」に参加各国より賛同を得る

取組状況を2011年G8環境大臣会合へ報告

2009

持続可能な資源管理に関するアジアセミナー（東京）

アジア3R推進フォーラム設立会合（東京）

2010
(予定)

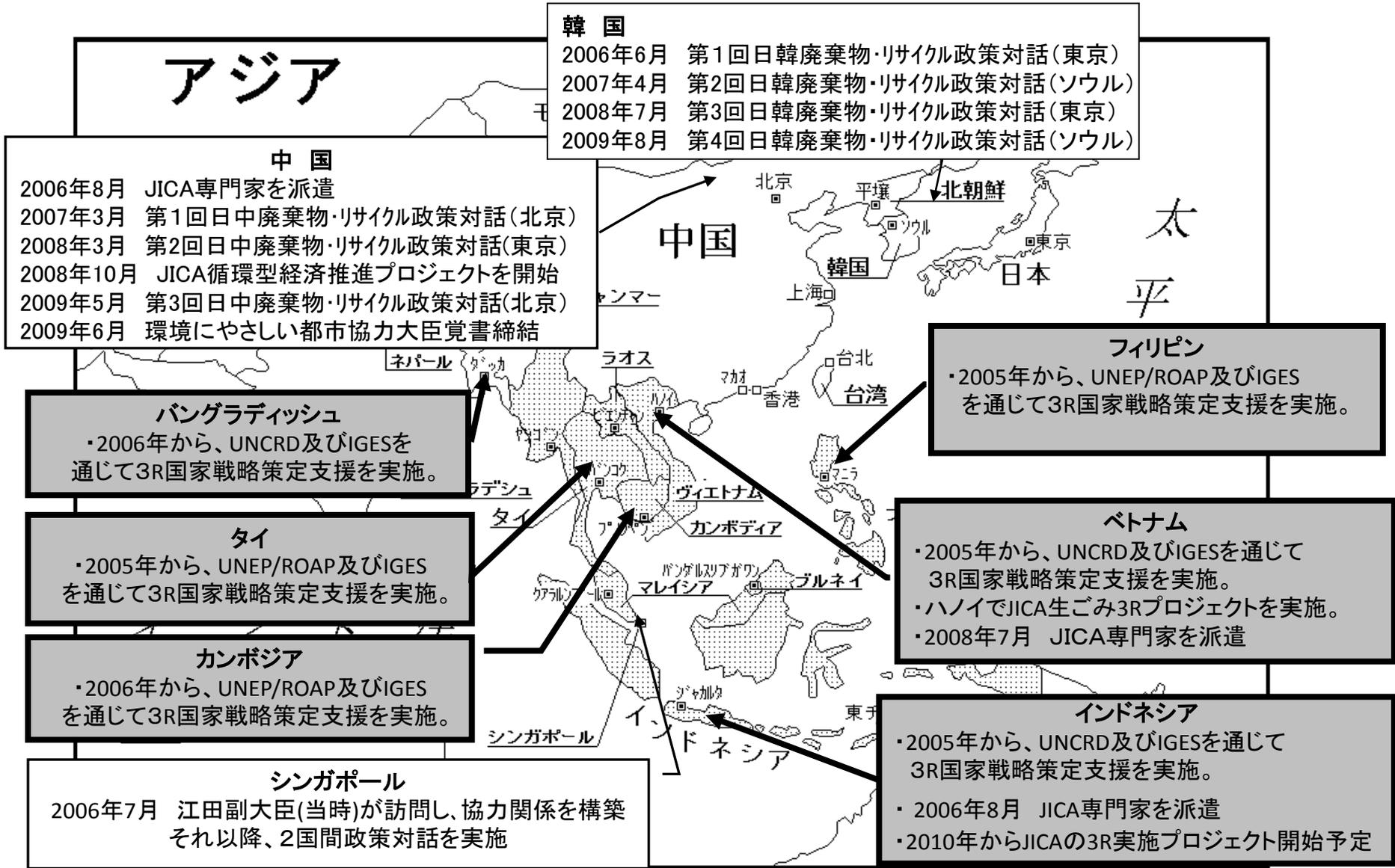
国連廃棄物管理国際会議（東京）

アジア3R推進フォーラム設立会合（マレーシア）

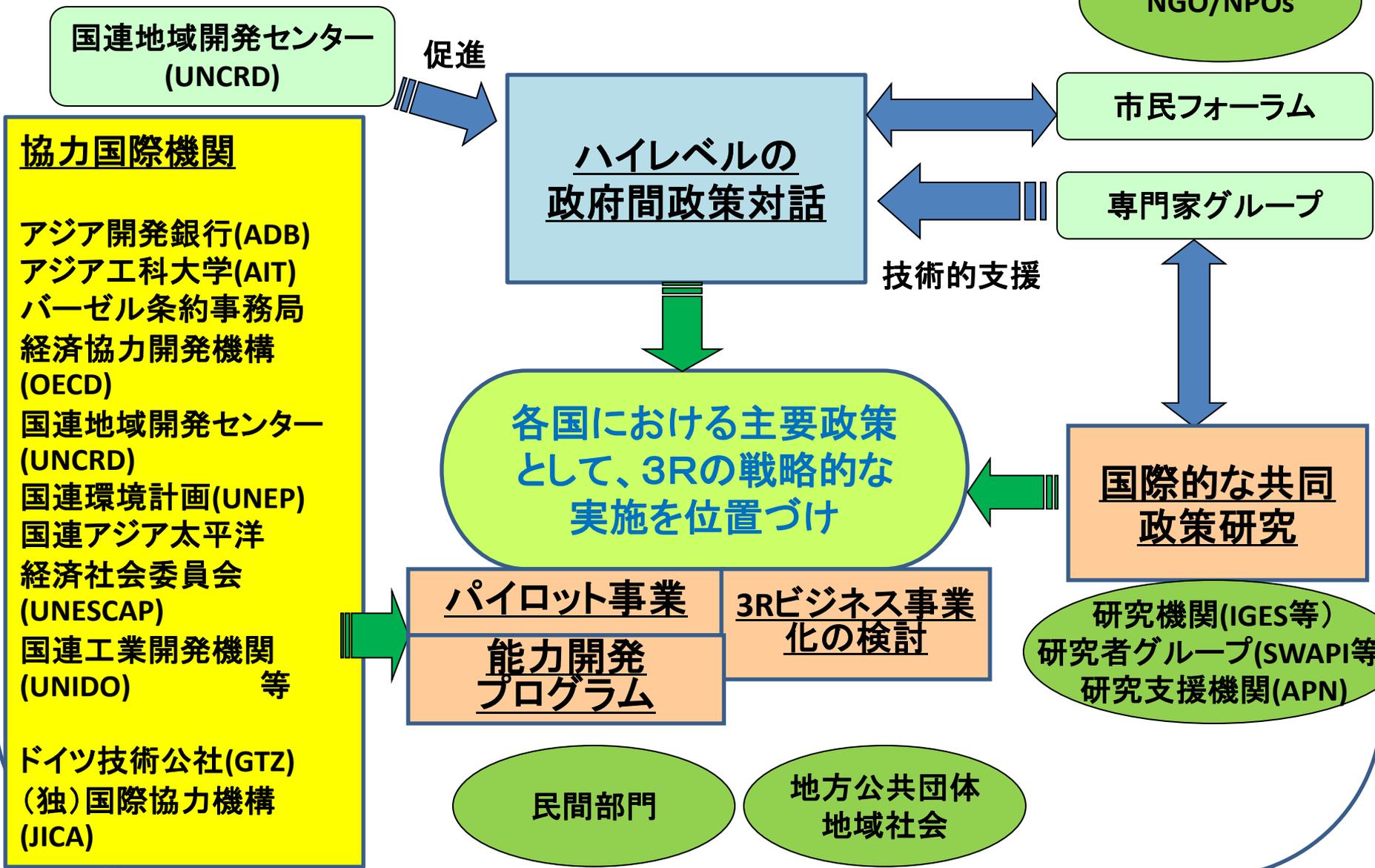
第18回国連持続可能な開発委員会会合（CSD）（ニューヨーク）

3Rに関するアジア各国との二国間協力

アジア



アジア3R推進フォーラム のイメージ



アジア3R推進フォーラムの設立

アジア3R推進フォーラム設立会合の開催

- 主催： 環境省、国連地域開発センター(UNCRD)
日時： 平成21年11月11日～12日
場所： 東京
- 出席者： アジア15カ国(大臣含む)、16国際機関の代表、専門家
全体議長： 大谷信盛環境大臣政務官
- 成果： ・「アジア3R推進フォーラムの設立についての東京3R宣言」の採択
- ハイレベルによる政策対話の定期的開催
- 3Rに関するプロジェクト実施への国際機関、援助機関の支援
- 3Rに関する優良事例、技術情報の共有
・次回会合(2010年)のマレーシア開催決定



アジア3R推進市民フォーラムの開催

- アジア3R推進フォーラム設立会合に先立ち、平成21年11月10日に開催
- 日本、中国、韓国、インドネシアのNPO/NGO(16団体)が出席
- 「アジア3R推進市民フォーラム」ステートメントを採択
- アジア3R推進フォーラム設立会合において報告

アジア3R推進フォーラムの今後の展開

- ◆アジア3R推進フォーラムのアジア各地での継続開催
 - アジアへの3Rの普及推進
 - フォーラムへの参加拡大(民間事業者、地方自治体、NGO等)
- ◆アジア各国の政策における3Rの明確な位置づけ
 - 各国との政策対話、アジアにおける政府間会議における議論推進
- ◆3Rの実践的行動の支援
 - 国際機関、援助機関による各国における3Rプロジェクト実施支援
 - エコタウンの普及等による民間企業による3R関連事業の展開の支援
 - 3Rと温暖化とのコベネフィット事業(CDM等)推進
- ◆アジアにおける3Rに関する研究支援
 - アジアにおける国際共同研究への支援
- ◆国際社会へのアピール
 - 国連における世界全体の廃棄物問題の議論に貢献する国際会議の開催等

UNEP(国連環境計画) 持続可能な資源管理に関する国際パネル

- 天然資源の持続可能な利用の確保に向けて、科学的な知見の充実を図るため、2007年11月にUNEPが設立。世界の著名科学者等約20名がメンバー。
- 具体的テーマ：
 - ・**デカップリング**に関する科学的理解
 - ・**金属資源**の地球規模でのフロー
 - ・**バイオ燃料**の環境面や供給面での持続可能性
 - ・製品・資源の環境影響：**優先付け**等
- 日本から森口祐一国立環境研究所循環型社会・廃棄物研究センター長がメンバー入り。環境省が資金拠出により活動を支援。
- 2009年3月10日 持続可能な資源管理に関するアジアセミナー（東京）
- 2009年6月4-5日 第4回運営委員会（パリ）
- 2009年11月8-9日 パネル会合、10-11日 第5回運営委員会（北京）



○パネルの最初の公表報告書として、バイオ燃料に関するレポートをプレスリリース(10月)

- ・第1世代のバイオ燃料について、自動車用液体燃料に転換するよりも、発電利用など、より効率的な利用があること等について触れる



Towards sustainable production and use of resources:

ASSESSING BIOFUELS

Biofuels have received much attention from decision-makers in government and industry, and of the wider public world-wide. As the number of publications devoted to this renewable source of energy is expanding rapidly, it has become increasingly difficult for decision-makers to identify the key messages on which to build their decisions. The International Panel for Sustainable Resource Management (IPSRM) is responding to this challenge with its first assessment report 'Towards sustainable production and use of resources: Assessing Biofuels'. This report is the result of an extensive literature examination and a thorough review process, involving a number of experts, to provide a robust assessment of key problems of production and use of biomass for energy purposes and options for more efficient and sustainable production and use of biomass. The focus is on so-called first generation biofuels, due to availability of state-of-the-art reviews, but also considers further lines of development. It takes a global perspective, recognizing regional and local differences.